

『第5回 由良川流域治水協議会』を開催

～由良川の流域治水プロジェクトの更なる推進に向けて～

第5回協議会では、流域治水プロジェクトの更なる充実のために、位置図・ロードマップに加え、グリーンインフラの取組、水害リスク情報の充実、取り組み情報の見える化からなる「由良川流域治水プロジェクト」をとりまとめた。また、オブザーバーから新たに構成員として「林野庁京都大阪森林管理事務所」など3機関が追加となり、規約の改正を行った。

- 日 時：令和4年3月23日（水） 14:30～15:45
- 場 所：ホテルロイヤルヒル福知山&スパ
(金蘭・銀蘭の間)
- 構成員：18名（うち、代理出席8名）
※オブザーバーから3機関が新たに構成員としてご参画頂いています。
- マスコミ：1社
- 議事概要：
(1)規約の変更について
(2)由良川水系流域治水プロジェクトの充実について
(3)今後のスケジュールについて



出席者からの主な意見



福知山市 大橋市長

●災害時要配慮者の個別避難計画作成に関して、プロジェクトチームを中心に取り組みを進めており、令和4年度も計画策定手法と避難パターンの作成を行い、令和7年度には計画策定が必要な全ての要配慮者の計画が作成できるよう進めていく。（福知山市）



京丹波町 畠中町長

●役場新庁舎の整備に当たり、駐車場の地下を活用した雨水貯留槽を整備した。新庁舎が本町の防災拠点としての機能を発揮するためにも、今後もより一層災害への危機管理対策を進めたい。（京丹波町）



森林整備センター
佐々木局長

●更なる森林の有する公益的機能の高度発揮を図るため、令和3年度も森林整備を予定している。また、森林の有する公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるため、複数の樹冠層を有する育成複層林の造成を積極的に推進している。（森林整備センター）



兵庫県 八尾課長

●竹田川流域において、ため池の事前放流や田んぼダムなど雨水貯留機能を高める取組や、ダムの事前放流など、様々な流域対策の取組を推進している。土砂災害対策としては、緊急性の高い箇所を優先して、治山・砂防防災林整備事業を実施する。（兵庫県）



綾部市 山崎副市長

●昨年3月に策定された立地適正化計画において、都市機能の集積や居住の誘導を図る方針を掲げた区域について、災害リスクをできるだけ回避・低減させるための防災指針の検討を進めてきた。本防災指針については、3月31日に公表する予定である。（綾部市）



舞鶴市 小田室長

●舞鶴市総合モニタリング情報配信システムを令和3年7月にWEB公開した。今後は内閣府SIPによる市町村災害対応統合システムと連動させることにより、避難情報を適切なタイミングで市民にわかりやすく伝達できるよう、更なる機能向上を目指す。（舞鶴市）



環境省
米田地域適応推進専門官

●局地的豪雨の増加による影響を把握し、その人的・物的被害を軽減するために、関係者の連携とアクションプランの立案を目的とした分科会を昨年度設置した。今年度は、ソフト対策を中心とした、広域アクションプランの骨子案を策定している。（環境省）



福知山河川国道事務所
矢野所長

●平成25年台風18号の被害を踏まえて、由良川水系河川整備計画の整備内容を大幅に前倒し実施してきた。中流部は、堤防がなかったために由良川沿いが一面浸水していたが、堤防整備により一連の堤防がつながった。（福知山河川国道事務所）

協議会の構成メンバー

構成員職名	氏名	構成員職名	氏名	構成員職名	氏名
福知山市長	大橋 一夫	京都府 建設交通部理事※	崎谷 和貴	福知山河川国道事務所長	矢野 則弘
舞鶴市長	多々見 良三	兵庫県 総合治水課長※	八尾 昌彦	オブザーバー	
綾部市長	山崎 善也	農林水産省 近畿農政局 農村振興部洪水調節機能強化対策官※	羽鳥 一郎	関西電力株式会社 京都水力センター所長※	掛谷 佳道
宮津市長※	城崎 雅文	林野庁 京都大阪森林管理事務所長※	中塚 仁司		
南丹市長※	西村 良平	気象庁 京都地方気象台長※	内藤 宏人		
京丹波町長	畠中 源一	気象庁 神戸地方気象台長※	藤本 敏文		
丹波篠山市長※	酒井 隆明	環境省 近畿地方環境事務所 環境対策課長※	福嶋 慶三		
丹波市長※	林 時彦	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 近畿北陸整備局長	佐々木 誠		

※：Web参加 _：当日代理

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課
〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104 (代表)

